

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成28年6月30日(2016.6.30)

【公表番号】特表2012-513945(P2012-513945A)

【公表日】平成24年6月21日(2012.6.21)

【年通号数】公開・登録公報2012-024

【出願番号】特願2011-542814(P2011-542814)

【国際特許分類】

C 01 B 25/45 (2006.01)

H 01 M 4/58 (2010.01)

H 01 M 4/36 (2006.01)

【F I】

C 01 B 25/45 Z

H 01 M 4/58 101

H 01 M 4/36 B

【誤訳訂正書】

【提出日】平成28年5月10日(2016.5.10)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0044

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0044】

好ましい実施の形態では、酸化状態が+5のリン原子を少なくとも1個含む、少なくとも1種の化合物に酸化される、少なくとも1種の還元剤は、炭素を含まない(カーボンフリーである)。本発明に従えば、「カーボンフリー(炭素を含まない)」は、リン-含有還元剤中に炭素原子が存在しないことを意味する。 H_3PO_3 等のカーボンフリーの還元剤の有利な点は、熱水工程(hydrothermal process)で、せいぜい300の低温で還元を行うことができる。これに対し、例えば還元剤としての炭素は、600以上の温度を必要とする。本発明に従う低温は、ナノ-結晶性材料を得ることを可能にする。ナノ-結晶性材料は、(例えば還元剤として炭素が使用される場合には、通常必要とされる)高温では集塊する傾向がある。